

2019 年度事業計画(案)

施設・事業所名 コタン

実施する福祉サービスなど

福祉サービス事業	利用定員 A	一日平均の 利用者数 B	年間の事業 実施予定日 C	実利用目標 (年間述人数) D	利用率目標 (D/A×C) E
共同生活援助	23 名	23 名	366 日	7,913 名	94%
	名	名	日	名	%
	名	名	日	名	%
	名	名	日	名	%

職員体制(4 月 1 日)

職 種	員 数	区 分				常勤換 算後の 職員数	摘 要
		常 勤		非常勤			
		専従	兼任	専従	兼任		
管理者	1		1			0.1	
サービス管理責任者	1				1	0.7	
医師							
支援員	16	9		3	3	11.6	
看護師	1			1		0.1	
栄養士							
事務員等							
その他	6	6				6	
合 計	25	15	1	4	4		

重点推進目標(3 点)

<p>○強度行動障害支援プログラムの実践（継続）</p> <p>強度行動障害支援を PDCA の流れに沿い、支援を実施。 専門的な支援力の向上とアウトプットできる職員の育成。</p>
<p>○『生活』『余暇』『仕事』の自立（継続）</p> <p>TEACCH プログラムの目指す3つの『自立』を目指して、支援を計画し実践していく。</p>
<p>○権利擁護の視点からその人らしい生活の確立をめざす（継続）</p> <p>その人がその人らしい生活を営めるように、自立、意思決定などをできる限り、追及していく。その人にあった合理的な配慮を追求し、支援を組み立てていく。</p>

施設整備計画

○	【予定額】	千円
○	【予定額】	千円
○	【予定額】	千円

設備整備計画(車輛更新含む)

○	【予定額】	千円
○	【予定額】	千円
○	【予定額】	千円

支援計画

- ☐ 日常生活支援
- 基本的な生活習慣の自立を目指すための適切な支援を提供。
- 日常生活を安心・安全に過ごすことが出来る支援の提供。
- ～リスクマネジメントの強化～
- 利用者の年齢や状態に合った個人プログラムを作成し支援にあたる。
- ・サービス管理責任者を中心に、本人、保護者、ユニット職員の意見を聞き、関係者会議を行いながら個別支援計画を立て、実施状況を見ながら評価を行い再度計画を作成する。
- 年2回 個別支援計画を作成し本人家族の同意を得て実施をする。
- 4月より各棟で個別支援プログラムタイムスケジュールをもとに計画的に作成し送付する。
- (具体的な生活)
- 食事 季節感があり変化に富んだ献立と栄養と利用者の身体状況に配慮したものを提供するよう委託業者と定期的(月1度)に打ち合わせをする。また、世話人と月1度会議を実施。
- 排泄 利用者の心身の状態に応じた支援を提供する。
- 入浴・睡眠・着脱衣・整容・移動
- 利用者の生活リズムを尊重し、快適清潔な生活を過ごすことが出来る支援を提供する。
- 利用者状況(入浴・排便等)の記録の充実を図る
- ☐ 日中活動支援
- 利用者の状況に応じた日中の過ごし方を検討する。
- ①活動する喜びを享受出来る適切な支援を提供する。
 - ②他者(ヒト)と共に創り出す喜びを味わうことが出来る支援を提供する。
 - ③自らの可能性を広げる喜びを分かち合うことが出来る支援を提供する。

□ 居住環境整備

- ①快適な日常生活環境を支えるための個別的な支援を提供する。
- ②自立と安全が適切に確保される支援を提供する。
- ③プライバシー空間の確保のため、創意工夫をし個別環境を整備する。

（具体的な整備内容）

清掃・洗濯・整理整頓・安全管理を本人の自立を妨げないように配慮し、且つ自立的な取り組みが促進されるよう、具体的・個別的な生活場面での支援を提供する。

□ 保健医療

- ①日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上をはかるための支援を提供する。
- ②健康に対する知識を習得し、自らの健康を守ることの大切さを自覚出来る支援を提供する。
- ③予防を第一に考え職員の統一した支援により病気を持ち込まない、広げない支援をする。

健康管理

- ・嘱託医による往診をはじめ、日常的には看護師による診察・疾病予防、健康管理を行う。
- ・腫瘍マーカーの検査を希望者に導入し、癌の早期発見・早期治療に役立てる。

服薬管理・通院治療

- ・常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う。

入院中のサービス

- ・安心した入院生活をするために巡回し、適宜迅速な支援を行う。

□ 社会生活支援

- ①個別的なコミュニケーション手段を工夫し、自己管理が出来るような支援を提供する。
- ②日常の社会生活が個々人の希望が尊重されたものとなるような支援を提供

（当該年度の主な取り組み）

- ・銀山地域行事参加プログラム実施と、日常生活に密着した地域参加プログラム（自由な散歩・買い物など）を継続
- ・旅行を企画（日帰り・宿泊・生まれ故郷プランなど）し、個別・小グループで旅行プログラム実施

（具体的な支援）

コミュニケーション・自己管理

- ・一人ひとりとの信頼関係を基本としたコミュニケーションを確保しつつ自己管理を適切に支援する。
- 日常・社会生活上の支援
- ・生活に係わるさまざまな情報を提供しつつ、楽しみと潤いのある生活が選択・決定を通して創造出来るような支援を行う。

□ 地域生活支援

外出の機会の促進

土・日のドライブや、地域のウォーキング・個別の買物など個々人にあった外出機会の提供。

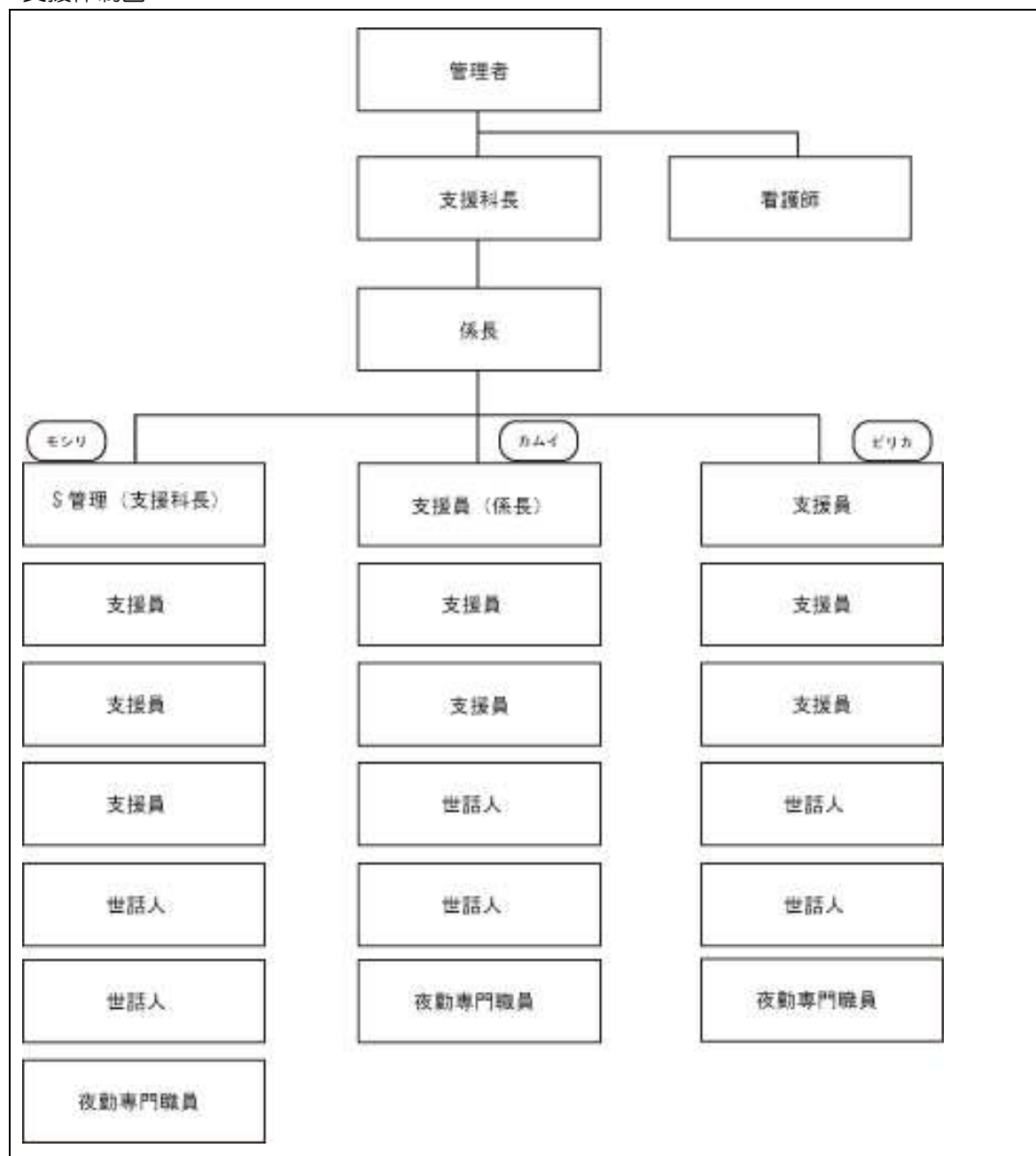
□ 就労(移行)支援

地元農家との連携事業

トマトの箱折りの収益活動の継続。

年間通じての収益活動を模索していく。

支援体制図



主な行事実施計画

行事名	実施日	摘 要
花見外出	5月	
さくらんぼ狩り	7月	
コタンBBQ	7月	
ふれあい祭り	9月	
ぶどう狩り	9月	
食の祭典	11月	
クリスマス会	12月	
ラーメンツアー	2月～3月	

会議・委員会等の開催計画

会議・委員会	実施日	摘 要
運営会議	毎月 1 回	銀山学園と共催
部科長会議	毎月 1 回	銀山学園と共催
科長会議	毎月 1 回	銀山学園と共催
コタン会議	毎月 1 回	
各棟の会議（ピリカ・カムイ・モシリ）	毎月 1 回ずつ	
リスクマネジメント委員会	毎月 1 回	銀山学園と共催
権利擁護推進委員会	毎月 1 回	銀山学園と共催
係長会議	毎月 1 回	銀山学園と共催
給食運営委員会	毎月 1 回	銀山学園と共催
世話人会議	毎月 1 回	

研修計画(施設・事業所内研修)

研修名	実施日	摘 要
コタン自閉症勉強会	毎月 1 回	
法人自閉症勉強会	年 2 クール	1 クール 5 回

研修計画(外部研修)

研修名	実施日	摘 要
自閉症ワークショップセミナー	8 月	5 日間 侑愛会 開催
自閉症セミナー	年 1 回	3 日間 はるにれの里 開催
後志地区 4 法人勉強会	年 2 ～ 3 回	
発達障害講座 (start・standard・advance)	年数回	はるにれの里 開催
感染症研修	年 1 回	保健所 開催
虐待防止研修	年 1 回	北海道主催

権利擁護の推進方針

- 権利擁護推進委員会 毎月開催。
各月、テーマをもって、研鑽を積む。
- 虐待防止のための職員セルフチェックを定期的実施。
集計、分析の作業を通して、日々の支援の中で、利用者との関わりについて具体事例を掘り下げ、その対応については、考え方を全体で共有していく。
- 個別支援の充実を目指す。アセスメントの繰り返しで、一人ひとりの生きづらさをくみとり、個別に配慮すべきは何か、を支援者が共有していくことに努める。

コミュニケーション面談実施計画

年間1回実施。

管理者・科長と2グループに分け、秋口ころ実施予定。管理者へ報告をする。

職員健康診断実施計画

○全職員に対し年1回 定期健康診断、メンタルヘルスチェックを実施 5月頃

夜間勤務職員に対し年1回定期健康診断の実施 10月頃

施設・事業所の構造

建 物	構 造	木造 平屋建て 3棟
	延べ面積	1棟あたり 331.24㎡ 993.72㎡
敷地面積		151.480㎡